

## 「第60回経営・経済動向調査」結果について

関西経済連合会と大阪商工会議所は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は11月中旬から12月上旬に1,682社を対象に行い、うち430社から回答を得た(有効回答率25.6%)。

### 【調査結果の特徴】

#### 1 国内景気について —景気回復の動きがやや停滞気味に

- 2015年10～12月期における国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が19.7%、「下降」と見る回答は14.8%。この結果、BSI値は4.9と、前期(10.0)からプラス幅が縮小した。
- 先行きについては、2016年1～3月期のBSI値は0.0、4～6月期は10.0と、一進一退の推移を見込む。

#### 2 自社業況について —プラス圏を維持し、前期より上向く

- 2015年10～12月期における自社業況の総合判断は、前期と比べ「上昇」と見る回答が25.9%、「下降」と見る回答は18.4%。この結果、BSI値は7.5と、前期(4.7)からプラス幅が拡大し、中小企業は4期ぶりにプラス圏に転じた。
- 先行きについては、2016年1～3月期のBSI値は7.3とほぼ横ばいで推移するが、4～6月期には季節要因もあり-0.7とマイナス圏に転じる見込み。

#### 3 2016年の経済見通し —日本経済の回復力の弱さが懸念事項に

- 2016年の円/ドルレートの見通しについては、12月末には120～130円未満と予想する企業が全体の53.5%で、現在とほぼ同じ水準と見る回答が過半数となった。一方、自社の希望水準は100～120円未満を回答する企業が54.7%と、現状の水準よりやや円高の方が望ましいとの声が多い。
- 2016年の日経平均株価の見通しについては、2016年12月末には18,000～20,000円未満とする企業が44.4%と最多。20,000円以上の見通しをする企業も33.0%あった。
- 2016年の経営上における懸念事項については、「日本経済の回復力の弱さ」との回答が55.3%と最も多く、「中国をはじめとする新興国経済の減速」が48.8%、「消費税率10%への引き上げ(2017年4月予定)への対応」が41.2%と続く。大企業では「中国をはじめとする新興国経済の減速」、「日本経済の回復力の弱さ」の順で、中小企業では「日本経済の回復力の弱さ」、「消費税率10%への引き上げ(2017年4月予定)への対応」の順で回答が多く、規模別で違いが表れた。

以上

# 第60回経営・経済動向調査

公益社団法人 関西経済連合会 大阪商工会議所

## <目次>

1. 国内景気 .....	2
2. 自社業況 総合判断 .....	3
3. 自社業況 個別判断 .....	4
4. 2016年の経済の見通し .....	8
参考(BSI値の推移) .....	10
参考(国内景気判断と自社業況判断の推移) .....	11

## <概要>

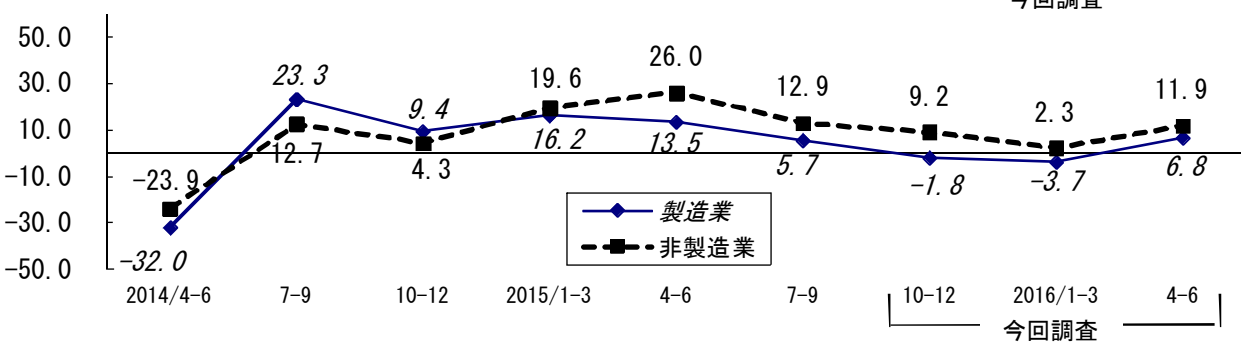
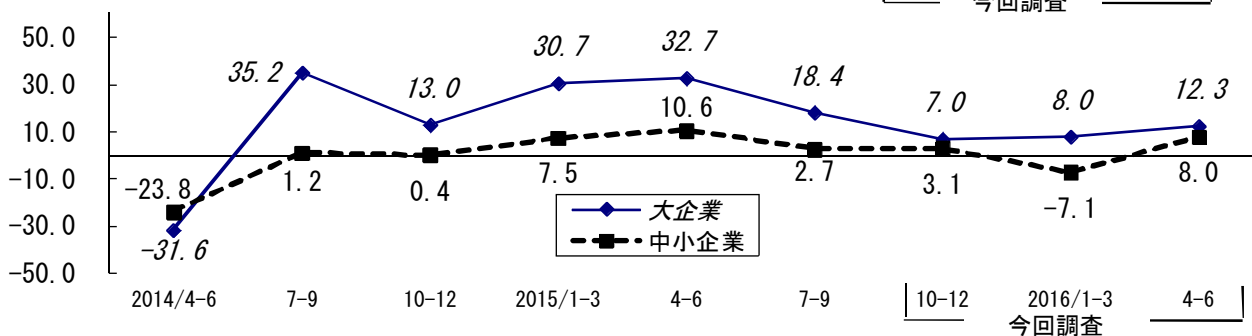
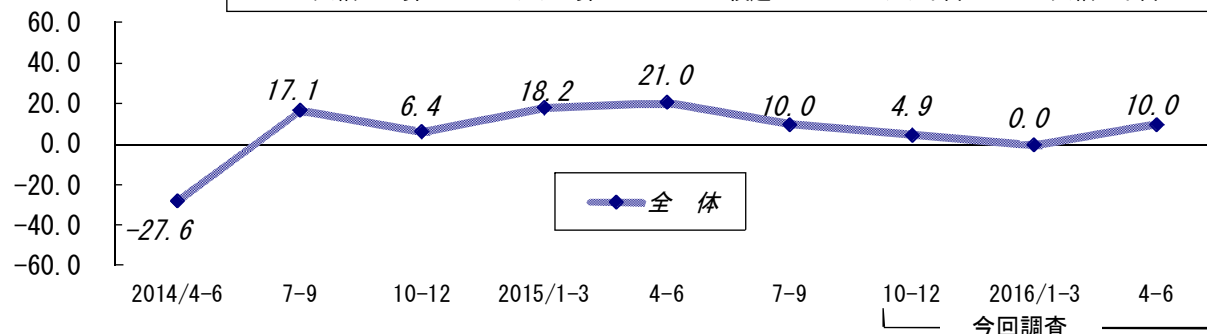
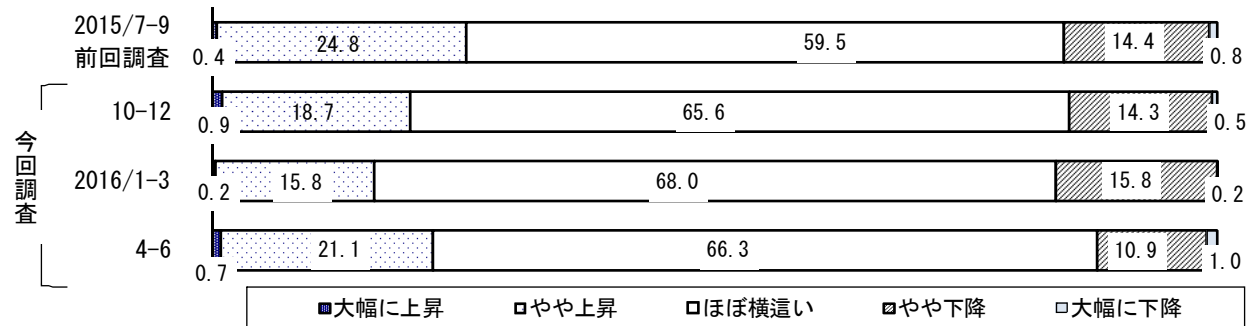
- 調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会(甲種会員)の会員企業 1,682社
- 調査時期：2015年11月16日～12月2日
- 調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- 回答状況：430社(有効回答率25.6%) (大企業：201社、中小企業：229社)  
企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。  
(製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下)
- 規模・業種別回答状況：

	製造業			非製造業			
	大企業	中小企業	計	大企業	中小企業	計	
食料品	4	5	9	卸売業	25	60	85
繊維工業・製品	10	1	11	小売業	7	6	13
パルプ・紙製品	2	3	5	出版・印刷	1	10	11
化学工業	17	10	27	建設業	23	20	43
鉄鋼	6	7	13	不動産業	6	5	11
非鉄金属・金属製品	9	12	21	運輸・通信業	8	18	26
一般機械器具	4	4	8	金融・保険業	14	1	15
電気機械器具	14	8	22	電気・ガス・熱供給・水道業	2	0	2
輸送用機械器具	4	3	7	サービス業	32	25	57
精密機械器具	1	1	2				
その他製造業	12	30	42				
計	83	84	167	計	118	145	263

※グラフの数値は、端数処理(四捨五入)の関係で、文章の数値と一致しないことがあります。

# 1. 国内景気

## — 景気回復の動きがやや停滞気味に —



### <足もと>

10～12月期における国内景気は、前期と比べ「上昇」と見る回答が19.7%、「下降」と見る回答は14.8%。

この結果、BSI値（「上昇」回答割合－「下降」回答割合、以下同じ）は4.9と、前期（10.0）からプラス幅が縮小し、前回調査時の10～12月期予測（16.0）より下方修正。

### <先行き>

2016年1～3月期のBSI値は0.0と落ち込むも、4～6月期には10.0と上昇を見込む。

### <規模別>

足もと（10～12月期）のBSI値は、大企業は7.0とやや落ち込んだが、中小企業は3.1とほぼ横ばいで推移。

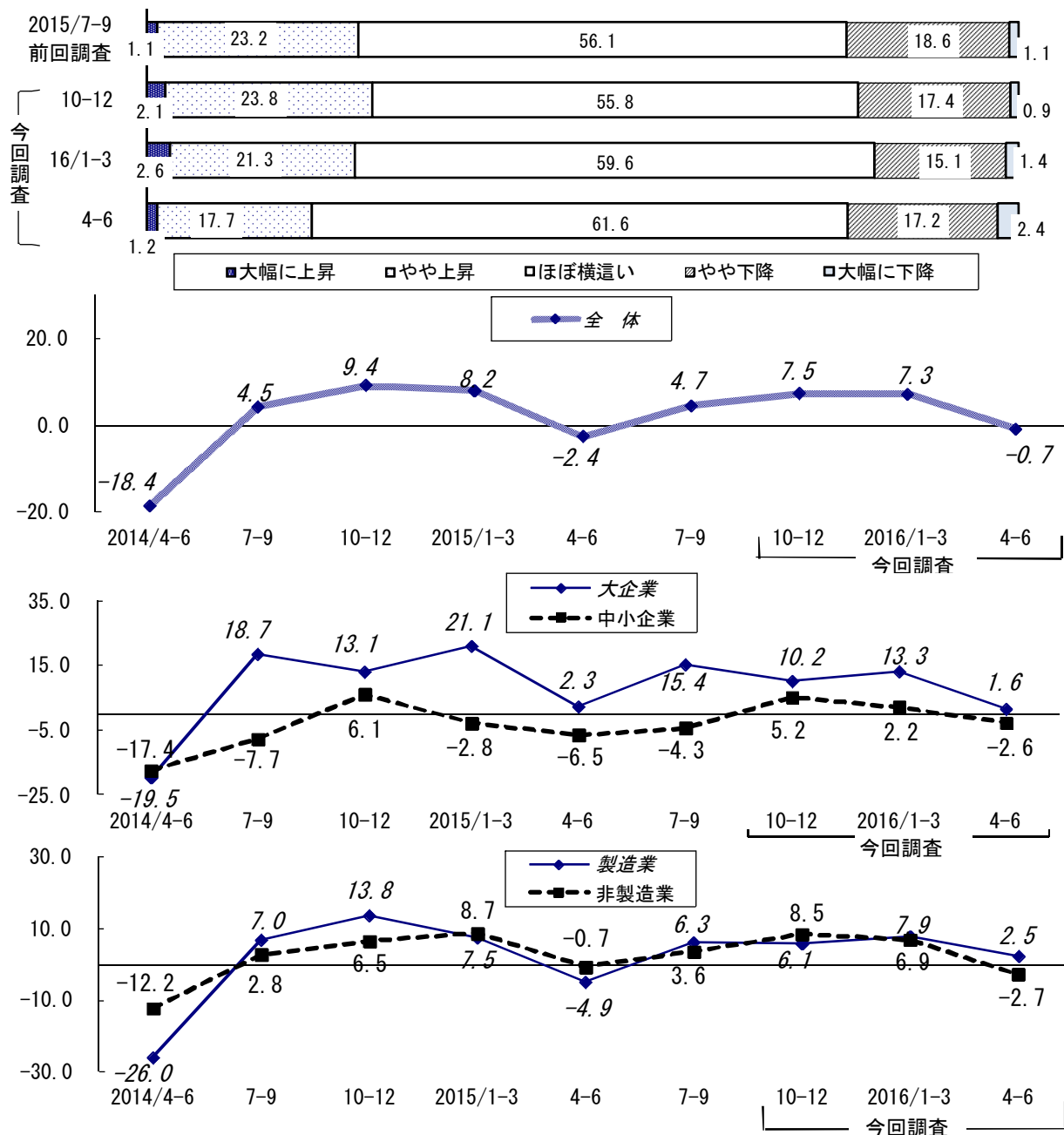
先行きは、大企業はプラスを維持する見込みであるが、中小企業は1～3月期にマイナス圏に転じる見込み。

### <業種別>

足もと（10～12月期）のBSI値は、非製造業は9.2とプラスを維持したが、製造業は-1.8とマイナス圏に転じる。

## 2. 自社業況 総合判断

### — プラス圏を維持し、前期より上向く —



#### <足もと>

2015年10～12月期における自社業況の総合判断は、前期と比べ「上昇」と見る回答が25.9%、「下降」と見る回答は18.4%。

この結果、BSI値は7.5と、前期（4.7）からプラス幅が拡大したが、前回調査時の10～12月期予測値（17.0）より下方修正。

#### <先行き>

2016年1～3月期のBSI値は7.3とほぼ横ばいで推移するが、4～6月期には-0.7とマイナス圏に転じる見込み。

#### <規模別>

足もと（10～12月期）のBSI値は、大企業（10.2）は6期連続でプラス圏を推移。

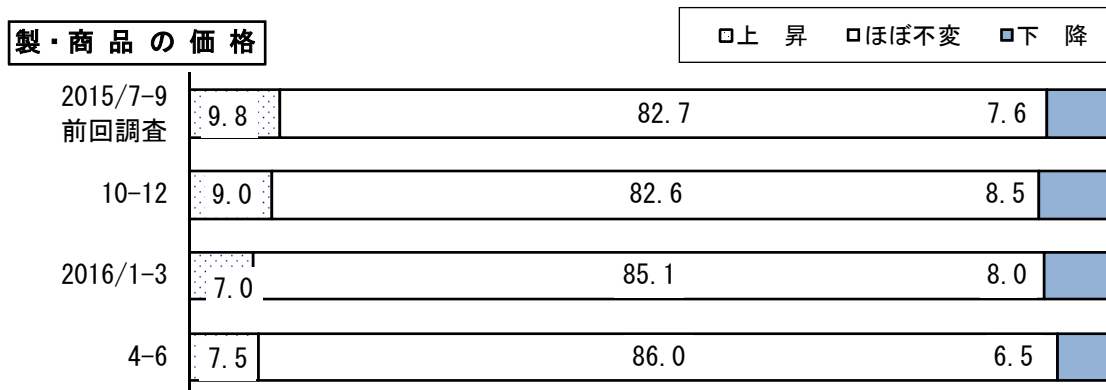
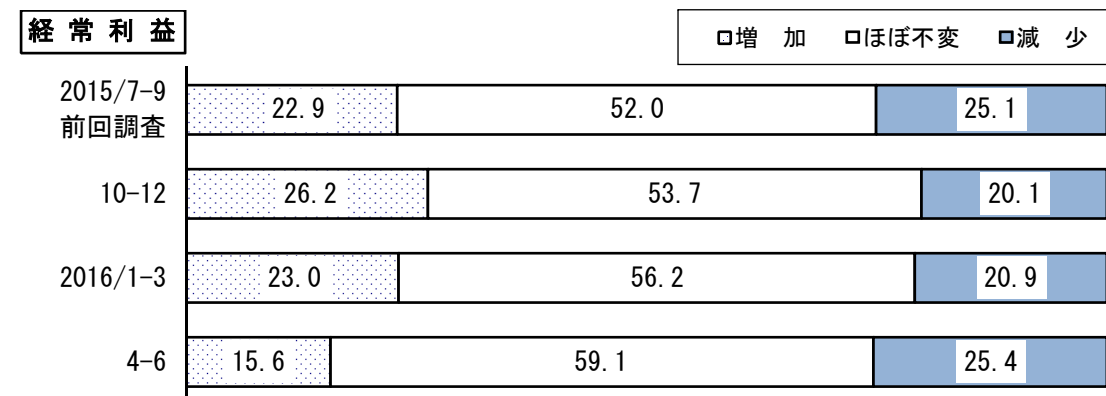
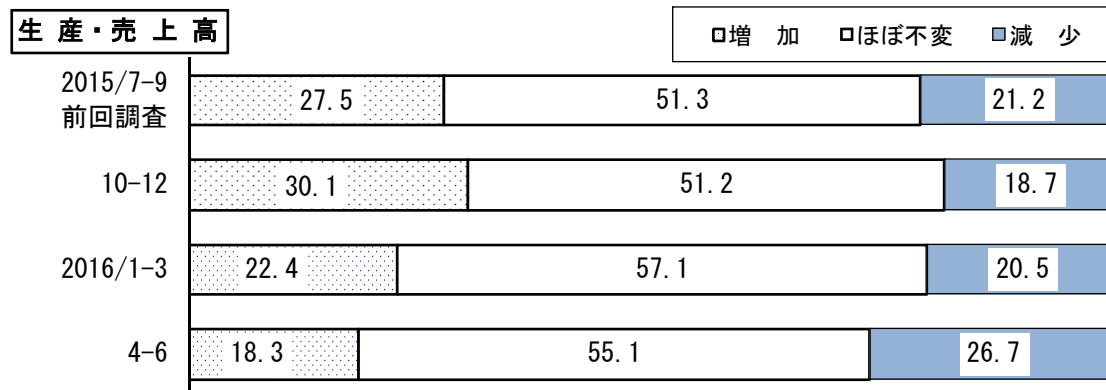
中小企業（5.2）は4期ぶりにプラス圏に転じる。

#### <業種別>

足もと（10～12月期）のBSI値は、製造業（8.5）、非製造業（6.1）とも、プラス圏を維持。

### 3. 自社業況 個別判断

#### － 売上高・経常利益ともに回復 －



#### <生産・売上高>

足もと（10～12月期）のBSI値（11.4）は、前期（6.3）に引き続きプラス圏を維持。

先行きについては、2016年1～3月期（2.0）はプラスを維持するも、4～6月期（-8.4）はマイナス圏に転じる見込み。

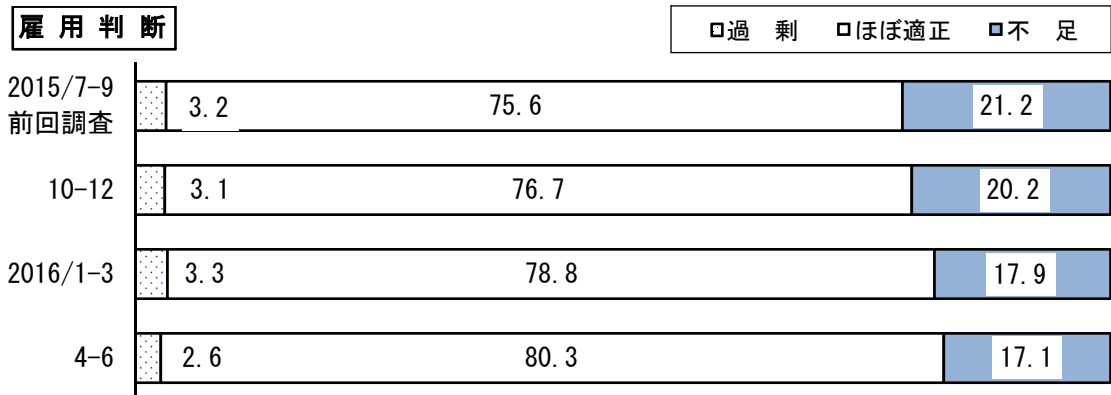
#### <経常利益>

足もと（10～12月期）のBSI値（6.1）は、前期（-2.1）より上昇し、プラス圏に転じる。

先行きについては、2016年1～3月期（2.1）はプラスを維持するも、4～6月期（-9.8）はマイナス圏に転じる見込み。

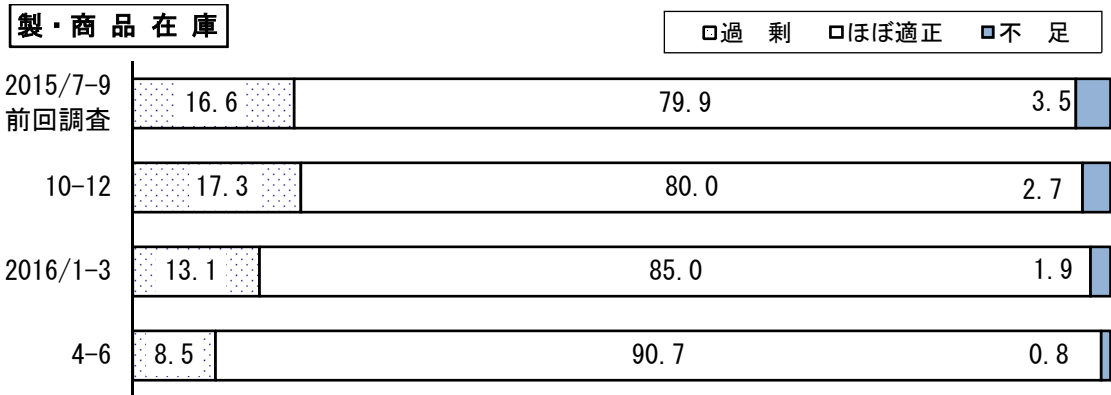
#### <製・商品の価格>

足もと、先行きともに全体の8割以上は「ほぼ不変」で推移。



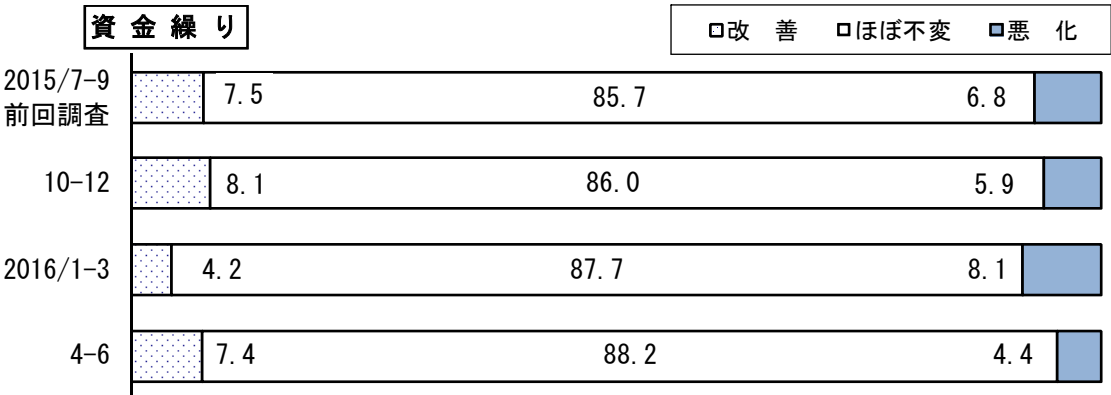
<雇用判断>

足もと（10～12月期）のBSI値（-17.2）は、前期（-18.0）からほぼ横ばいで推移。先行きも、2016年1～3月期（-14.6）、4～6月期（-14.5）と引き続き不足感が続く見込み。



<製・商品在庫>

足もと（10～12月期）のBSI値は14.6と幾分過剰感があるが、2016年1～3月期（11.2）、4～6月期（7.8）と、徐々に在庫調整が進む見込み。



<資金繰り>

足もと、先行きとも「ほぼ不変」とする回答が8割以上を占める。

## 【参考—個別判断 企業規模別】



### ＜生産・売上高＞

足もとは、大企業、中小企業ともに「増加」が「減少」を上回る。

先行きは、中小企業では、2016年1～3月期に、大企業では、4～6月期に「減少」が「増加」を上回る見込み。

### ＜経常利益＞

足もとは、大企業、中小企業ともに「増加」が「減少」を上回る。

先行きは、中小企業では、2016年1～3月期に、大企業では、4～6月期に「減少」が「増加」を上回る見込み。

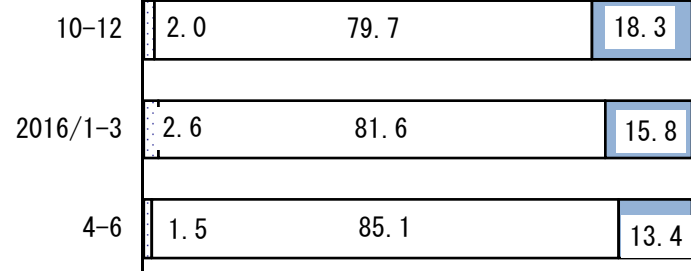
### ＜製・商品の価格＞

大企業、中小企業とも、各期を通じ「ほぼ不変」の回答が8割以上で推移。

大企業 自社業況 個別判断

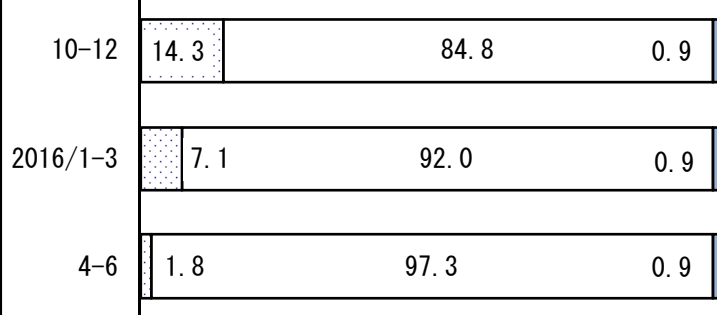
雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足



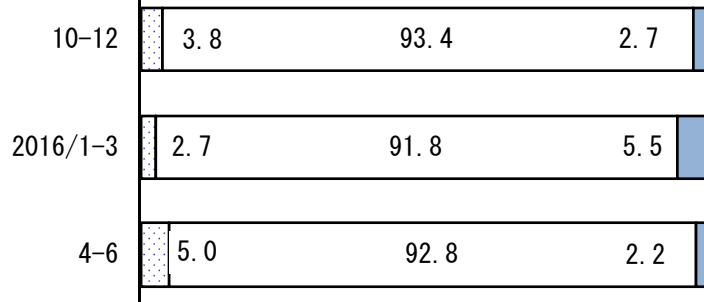
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

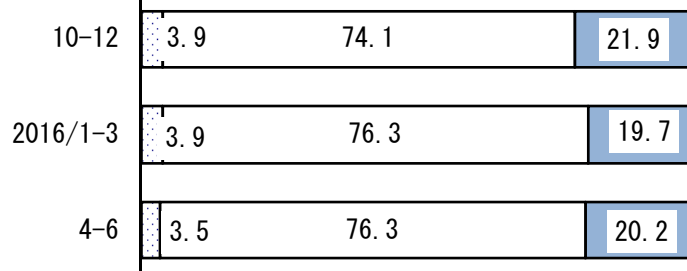
□改善 □ほぼ不変 □悪化



中小企業 自社業況 個別判断

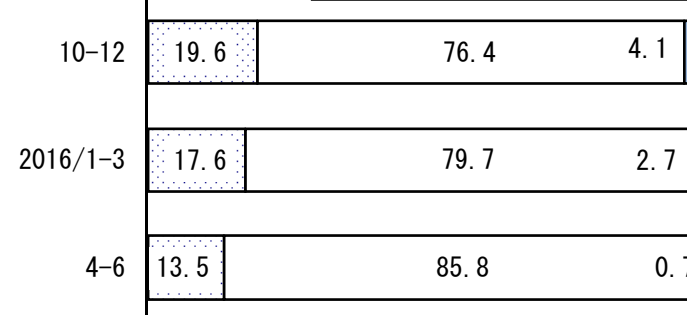
雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足



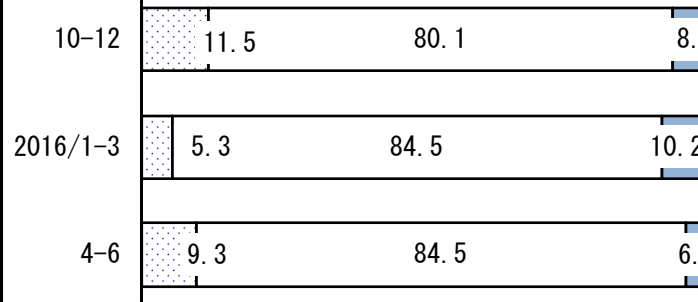
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

□改善 □ほぼ不変 □悪化



<雇用判断>

大企業、中小企業とも、各期を通じ「不足」超過。

<製・商品在庫>

大企業、中小企業とも、足もとやや過剰感が強いが、先行きは調整が進む見込み。

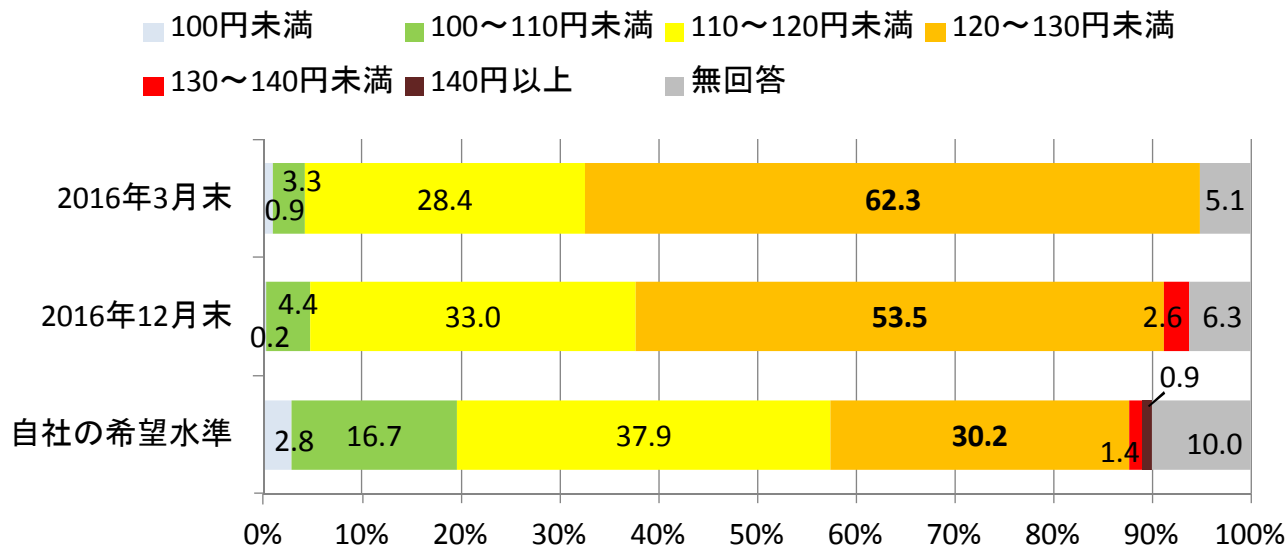
<資金繰り>

各期を通じ、大企業では9割以上が、中小企業では8割以上が、「ほぼ不変」の回答で推移。



## 4. 2016年の経済の見通し

### (1) 来年(2016年)の円/ドルレートの見通しについて (n=430)



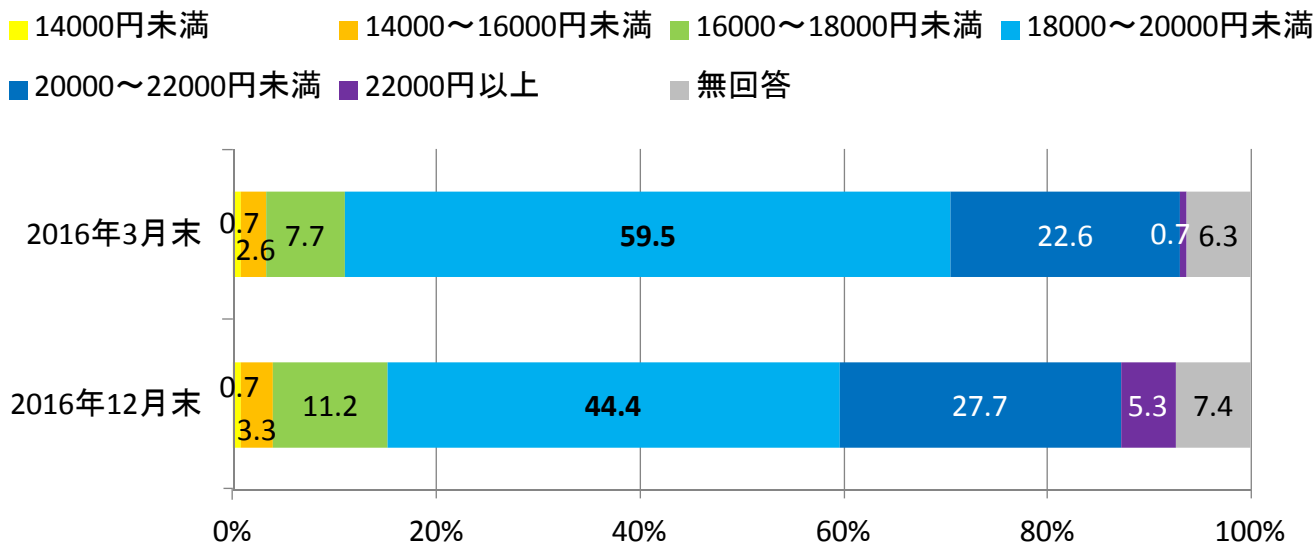
2016年3月末のレート見通しは、現在とほぼ同じ水準(120~130円未満)との回答が6割を超えている。

2016年12月末では、同水準の回答は、約5割に減少し、やや円高になるとの見通しが増加する。

自社の希望水準は、120円未満と回答する企業が6割弱となっており、今よりも円高の方が望ましいとの声が多い。

※2015/12/1時点の為替レート・・・123円

### (2) 来年(2016年)の日経平均株価の見通しについて (n=430)



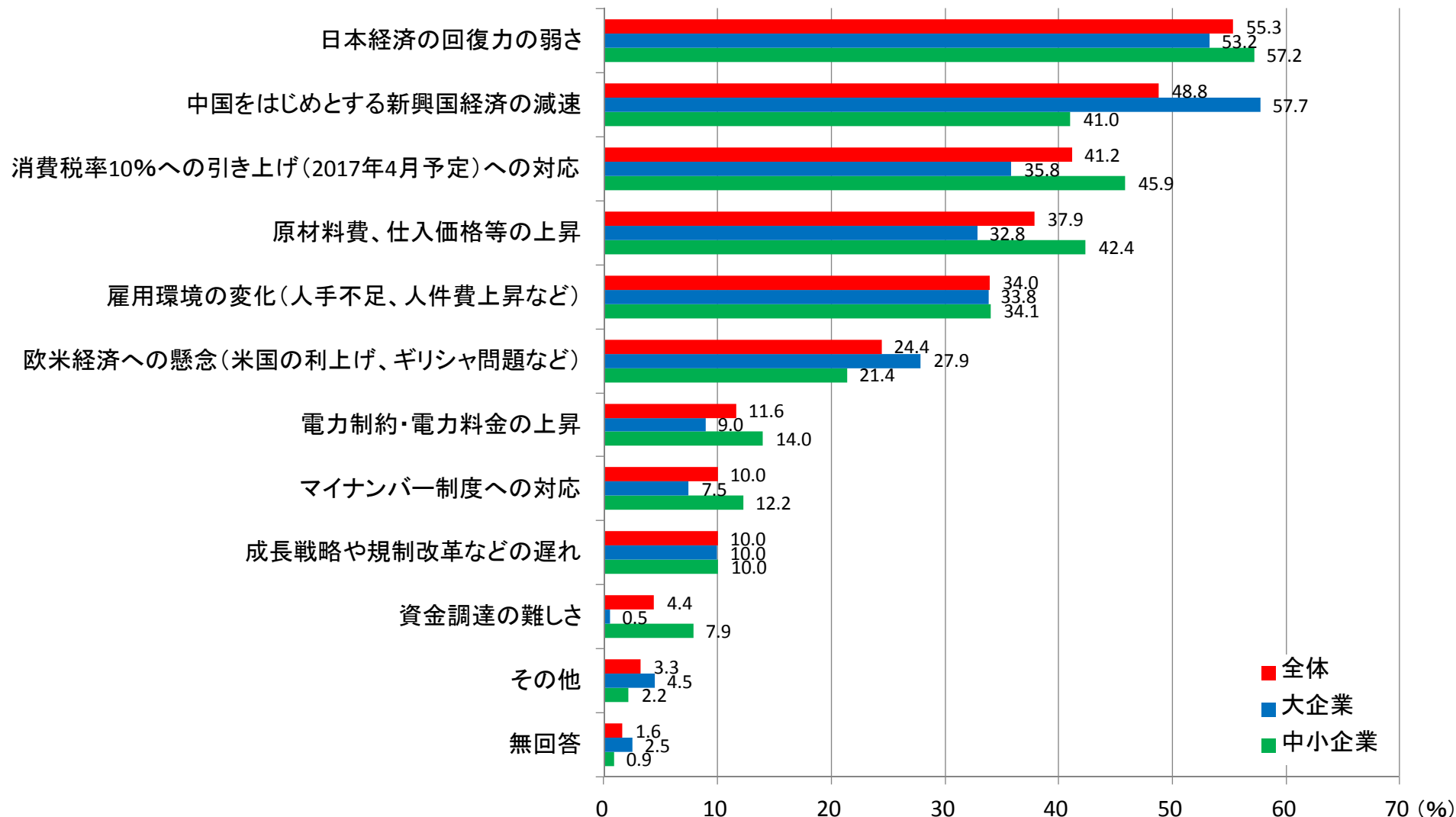
2016年3月には、ほぼ現在の水準(18,000~20,000円未満)との回答が約6割と最も多い。

2016年12月には、同水準の回答がやや減少し、現在より株高水準となる見通しが増加している。

※2015/12/1時点の日経平均株価・・・20,012円

## 4. 2016年の経済の見通し

### (3)2016年の経営上における懸念事項 (n=430、3つまで回答)



2016年の経営上における懸念事項について尋ねたところ、「日本経済の回復力の弱さ」(55.3%)との回答が最も多く、次に、「中国をはじめとする新興国経済の減速」(48.8%)との回答が続く。

規模別にみると、大企業では「中国をはじめとする新興国経済の減速」が最も回答が多く、次いで「日本経済の回復力の弱さ」となったが、中小企業では「日本経済の回復力の弱さ」が最も回答が多く、次いで「消費税率10%への引き上げ(2017年4月予定)への対応」となった。

【参考－BSI値の推移】

回数・時期	国内景気					自社業況					
	足もと		中小企業	3か月後	6か月後	足もと		中小企業	3か月後	6か月後	
	全体	大企業				全体	大企業				
1	2001年3月	▲ 56.4	▲ 57.6	▲ 55.3	▲ 33.1	▲ 9.8	▲ 21.6	▲ 7.6	▲ 34.7	▲ 17.7	▲ 0.9
2	2001年6月	▲ 44.2	▲ 42.2	▲ 46.2	▲ 23.5	▲ 6.7	▲ 31.7	▲ 26.8	▲ 36.4	▲ 6.8	9.5
3	2001年9月	▲ 78.6	▲ 81.8	▲ 75.3	▲ 58.1	▲ 37.7	▲ 44.8	▲ 38.6	▲ 51.1	▲ 27.9	▲ 21.7
4	2001年12月	▲ 69.8	▲ 72.8	▲ 67.0	▲ 59.3	▲ 26.8	▲ 38.4	▲ 40.7	▲ 36.4	▲ 30.9	▲ 17.4
5	2002年3月	▲ 66.1	▲ 63.9	▲ 68.0	▲ 33.7	▲ 11.5	▲ 37.6	▲ 32.6	▲ 42.0	▲ 20.1	▲ 3.2
6	2002年6月	▲ 7.0	▲ 4.5	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 31.0	▲ 19.9	▲ 12.9	▲ 26.3	▲ 2.5	▲ 15.6
7	2002年9月	▲ 19.0	▲ 10.3	▲ 27.9	▲ 4.4	▲ 2.0	▲ 15.8	▲ 4.9	▲ 26.8	▲ 5.5	▲ 3.1
8	2002年12月	▲ 39.0	▲ 40.5	▲ 37.5	▲ 40.5	▲ 16.1	▲ 7.9	▲ 6.0	▲ 9.8	▲ 18.8	▲ 10.8
9	2003年3月	▲ 40.3	▲ 40.2	▲ 40.3	▲ 26.7	▲ 12.8	▲ 16.9	▲ 0.0	▲ 32.3	▲ 19.1	▲ 7.2
10	2003年6月	▲ 36.0	▲ 33.2	▲ 38.2	▲ 26.1	▲ 5.0	▲ 25.1	▲ 23.9	▲ 26.1	▲ 10.9	▲ 4.3
11	2003年9月	6.1	17.3	▲ 3.9	20.8	16.8	▲ 5.2	6.3	▲ 15.5	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	29.7	24.6	16.6	27.5	12.3	11.3	13.1	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37.1	25.5	37.0	32.9	5.5	17.5	▲ 4.4	8.1	13.0
14	2004年6月	40.5	51.0	31.5	34.6	35.6	6.8	16.2	▲ 1.1	18.3	22.3
15	2004年9月	35.0	46.2	24.5	29.3	15.0	14.0	20.7	7.9	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	14.5	12.4	▲ 9.6	4.5	7.1	12.2	2.4	4.8	4.6
17	2005年3月	▲ 10.0	▲ 5.7	▲ 13.4	5.5	15.7	▲ 3.0	10.0	▲ 13.6	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	13.2	4.9	12.9	28.2	▲ 1.1	3.4	▲ 5.8	11.0	19.9
19	2005年9月	24.0	31.3	18.1	27.6	23.0	4.1	10.9	▲ 1.6	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	53.5	41.7	38.8	36.3	16.9	26.6	7.8	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.6	35.9	46.5	39.8	14.3	17.8	11.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	53.4	29.5	39.0	30.6	7.4	16.9	▲ 1.6	20.0	25.1
23	2006年9月	35.3	48.1	24.3	34.5	18.7	8.4	25.2	▲ 6.1	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	40.0	22.5	15.5	15.6	20.7	26.9	15.9	13.0	12.8
25	2007年3月	20.4	31.6	13.9	29.7	24.9	7.3	14.7	3.0	16.0	20.9
26	2007年6月	15.1	27.8	6.9	19.8	22.0	▲ 0.2	2.7	▲ 2.0	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	15.3	▲ 3.4	13.5	10.2	▲ 1.2	5.7	▲ 5.4	11.6	12.1
28	2007年12月	▲ 15.9	▲ 9.5	▲ 19.7	▲ 22.1	▲ 10.1	3.7	4.5	3.3	▲ 2.0	▲ 0.2
29	2008年3月	▲ 43.9	▲ 39.2	▲ 46.6	▲ 35.1	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 1.4	▲ 24.1	▲ 12.9	▲ 2.6
30	2008年6月	▲ 48.6	▲ 49.3	▲ 48.2	▲ 44.6	▲ 32.4	▲ 22.6	▲ 20.7	▲ 23.6	▲ 17.5	▲ 6.9
31	2008年9月	▲ 66.2	▲ 64.1	▲ 67.6	▲ 55.8	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 21.1	▲ 32.2	▲ 17.7	▲ 17.4
32	2008年12月	▲ 83.1	▲ 87.8	▲ 80.1	▲ 78.4	▲ 56.9	▲ 41.7	▲ 45.0	▲ 39.7	▲ 42.4	▲ 33.4
33	2009年3月	▲ 87.9	▲ 90.7	▲ 86.1	▲ 65.3	▲ 39.2	▲ 63.9	▲ 63.8	▲ 63.9	▲ 52.6	▲ 36.2
34	2009年6月	▲ 42.2	▲ 24.1	▲ 52.5	▲ 19.6	8.5	▲ 46.5	▲ 39.1	▲ 50.7	▲ 23.0	▲ 1.3
35	2009年9月	▲ 16.6	▲ 2.0	▲ 27.6	▲ 5.0	▲ 1.7	▲ 24.4	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 11.1	▲ 10.2
36	2009年12月	▲ 16.8	▲ 7.1	▲ 23.1	▲ 23.6	▲ 5.4	▲ 14.2	▲ 1.0	▲ 23.8	▲ 23.6	▲ 16.8
37	2010年3月	▲ 9.9	▲ 4.7	▲ 18.8	▲ 1.4	8.6	▲ 19.3	▲ 4.3	▲ 28.4	▲ 12.2	0.2
38	2010年6月	4.5	23.4	▲ 7.7	5.3	18.7	▲ 6.5	8.3	▲ 16.2	▲ 0.2	12.8
39	2010年9月	▲ 17.1	▲ 3.8	▲ 25.9	▲ 20.2	▲ 17.0	▲ 10.6	▲ 0.5	▲ 17.2	▲ 6.3	▲ 10.0
40	2010年12月	▲ 18.5	▲ 12.5	▲ 22.3	▲ 15.9	3.7	▲ 9.9	▲ 3.5	▲ 13.8	▲ 14.4	▲ 0.2
41	2011年3月	5.3	11.7	1.1	6.9	9.8	▲ 1.6	3.4	▲ 4.8	1.4	5.0
42	2011年6月	▲ 57.1	▲ 58.1	▲ 56.5	▲ 13.0	17.0	▲ 24.4	▲ 26.3	▲ 23.4	▲ 9.2	10.7
43	2011年9月	▲ 9.5	9.7	▲ 23.4	2.0	5.7	▲ 8.0	9.2	▲ 20.4	8.0	2.1
44	2011年12月	▲ 26.4	▲ 22.2	▲ 29.8	▲ 17.2	0.0	▲ 9.4	▲ 3.8	▲ 13.7	▲ 10.4	2.1
45	2012年3月	▲ 8.5	▲ 0.9	▲ 14.7	14.3	17.2	▲ 12.2	▲ 7.3	▲ 16.1	1.0	10.1
46	2012年6月	▲ 4.9	6.3	▲ 14.6	▲ 4.7	17.4	▲ 8.1	▲ 2.9	▲ 12.5	5.2	19.0
47	2012年9月	▲ 9.9	▲ 0.5	▲ 17.6	3.2	2.8	▲ 5.5	3.3	▲ 12.5	11.7	1.1
48	2012年12月	▲ 40.5	▲ 44.0	▲ 37.6	▲ 20.0	▲ 3.0	▲ 8.4	▲ 7.6	▲ 9.0	▲ 12.3	▲ 4.6
49	2013年3月	22.0	32.3	13.0	37.7	38.0	▲ 1.7	9.8	▲ 11.6	7.9	24.5
50	2013年6月	45.8	54.5	36.6	47.4	43.6	8.2	10.3	6.1	20.5	24.9
51	2013年9月	32.8	42.8	22.7	37.3	35.3	8.0	21.3	▲ 5.5	22.9	16.3
52	2013年12月	47.6	58.3	38.9	47.0	▲ 5.6	22.8	29.9	17.0	19.3	▲ 4.9
53	2014年3月	50.4	59.1	42.7	▲ 31.3	26.9	20.2	30.2	11.3	▲ 18.8	16.6
54	2014年6月	▲ 27.6	▲ 31.6	▲ 23.8	33.4	37.6	▲ 18.4	▲ 19.5	▲ 17.4	14.8	23.6
55	2014年9月	17.1	35.2	1.2	27.4	17.8	4.5	18.7	▲ 7.7	17.8	15.1
56	2014年12月	6.4	13.0	0.4	4.5	14.2	9.4	13.1	6.1	3.9	3.0
57	2015年3月	18.2	30.7	7.5	23.8	26.2	8.2	21.1	▲ 2.8	4.2	16.7
58	2015年6月	21.0	32.7	10.6	25.4	28.2	▲ 2.4	2.3	▲ 6.5	16.0	22.3
59	2015年9月	10.0	18.4	2.7	16.0	13.1	4.7	15.4	▲ 4.3	17.0	13.0
60	2015年12月	4.9	7.0	3.1	0.0	10.0	7.5	10.2	5.2	7.3	▲ 0.7

### 国内景気判断と自社業況判断の推移

